ほけんだより 感染症警戒臨時号

インフルエンザ B 型が流行し始めています。

日頃より、お子様の健康観察や健康管理をありがとうございます。

最近、見川小学校では、インフルエンザ B 型に感染する児童が増えてきました。学級閉鎖が多かった 12 月頃は、インフルエンザ A 型が占めており、インフルエンザ B 型は見られませんでした。しかし、2 月に入りインフルエンザ B 型と診断される児童が少しずつ増えてきています。

〈インフルエンザ A 型とインフルエンザ B 型のそれぞれの特徴〉

A 型
- 高熱がでる。
- 強い頭痛がある。
- 関節痛、筋肉痛がある。
- 咳、のどの痛み、鼻水などの呼吸器症状がある。

B 型
- 高熱が出る場合もあるが、微熱やほぼ熱が出ない場合もある。
- 微熱が続き、なかなか下がらない。
- 微熱がでた後、時間が経つにつれて高熱に変わってくる。
- 平熱付近だが、身体がだるいなどの体調不良が続く。
- 呼吸器症状の他、下痢、腹痛といった消化器系症状が現れやすい。

一般的なインフルエンザ B 型は、上記のようにインフルエンザだとわかりにくいという特徴がありますが、見川小学校の欠席児童の状況を聞くと、今回の B 型は高熱が出る場合が多いようです。

既にインフルエンザ A 型にかかっていても、B 型にかかる可能性がありますので、ご注意ください。

あわせて、感染性胃腸炎にもご注意ください。

保健室に来室する児童で、腹痛を訴える児童が多くなってきました。今は、インフルエンザとともに感染性胃腸炎も流行する時期です。現在見川小学校では、感染性胃腸炎の流行は見られていませんが、感染性胃腸炎で欠席する児童が時々います。

〈ノロウイルスによる感染性胃腸炎の特徴〉

- おもな症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
- ウイルスに汚染された二枚貝を、十分に加熱しないで食べると感染する。また、感染者の糞便や嘔吐物から感染する。

〈予防法・拡大を防ぐ方法〉

- 石鹸で手をよく洗う。　※アルコール消毒は効果がないので、石鹸で手をしっかり洗うことが大切です。
- 嘔吐物が付着した物の消毒方法

床　→6%次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)を 0.1%に希釈する。
(500ml の水にペットボトルキャップ2杯の次亜塩素酸ナトリウムを入れる)

衣服や器具→6%次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)を 0.02%に希釈し、つけ置きする。
(500ml の水にペットボトルキャップ半分弱の次亜塩素酸ナトリウムを入れる)

★出席停止期間は、主症状がなくなるまでです。主治医の判断をいただいてください。